

社会福祉法人 日本点字図書館

感謝録

平成26年6月

創立記念日に、地域の方々に向けた施設開放イベントを開催いたしました。

ミニ点字教室開講
-点字の入った
名刺をつくろう！-

スーパーバックス協力の
カフェコーナー

11/9(土)
・第10回本間一夫文化賞
表彰式と講演
・遺囑委任者への
感謝状贈呈

見えにくくなった人に
便利なグッズの
ご紹介と販売

録音図書の新蔵に
チャレンジ

音声で使う
パソコン体験

見えにくい見えにくい
体験をしてみよう！

音源犬と
歩いてみよう

日本点字図書館の
点字図書館
オープンオフィス
2013年11月9日(土) / 10日(日)
10時 ~ 16時

社会福祉法人 日本点字図書館
169-8586 新宿区高田馬場 1-23-4
Tel. 03-3209-0241
<http://www.nittento.or.jp/>

皆様のご支援をお願いいたします。

ほか 多数の企画があります

講演会 11/9(土)
・13~14時 日野原重明氏
・15~16時 堀内佳美氏
ほか

どなたでも
おこし下さい！

日本点字図書館
★
〒新宿区高田馬場
169-8586
高田馬場駅 徒歩10分
高田馬場駅 徒歩10分
高田馬場駅 徒歩10分

数多くのご支援に感謝いたします。

この表紙にスマホをかざして募金ができます。
(くわしくは中面)



感謝のことば

社会福祉法人 日本点字図書館

理事長 田中 徹二



平成 25 年度の実績をまとめました感謝録をお届けいたします。この報告にありますように、皆様のあたたかなご支援のおかげで、昨年度も無事に事業を進めることができました。心から感謝申し上げます。

昨年度は、ありがたいことに大口のご寄付をいくつか頂戴することができました。その中で印象深かったのは、ご近所にお住まいでお母様の遺産の一部をご持参くださった方のことです。銀行から降ろした大金をそのままご持参くださいました。いささか驚きましたが、私どもにとりましてはたいへんありがたい贈物でした。

私どもを支えてくださる弁護士の皆様によりますと、来年から相続税の税率が引き上げられるので、遺産をどうするかという相談が増えているそうです。しかし、その中で遺産の一部を社会福祉法人に寄付をして相続税とのバランスを図るといった相談はあまりないということです。「この辺の感覚が、欧米と日本との違いだ」とおっしゃいます。私にはよくわかりませんが、欧米の盲人施設が巨額の寄付を集めている報告を読みますと、納得できそうな気がします。

それはともかく、私どもでは大口のご寄付を頂戴いたしますと、その方のお名前を付けた基金として、大切に預からせていただくことにしております。経営基盤の脆弱な単独の社会福祉法人としましては、いざという事態が発生した際、少しでも資金の余裕を作っておかなければ、とても運営を維持継続していくことができないからです。

予算上も、大口のご寄付を見込むようなことはしておりませんので、平成 25 年度の予算は例年のようにギリギリでスタートいたしました。幸い、決算では 24 年度を僅かに上回ることができましたので、お陰様で、予定した事業をほぼ遂行することができました。

平成 26 年度も新たな事業を計画しております。障害を持つ児童・生徒を支援するための研究開発も始まります。こうした事情をご推察の上、ぜひ今年もご支援たまわりますようお願い申し上げます。

平成 25 年度 事業のあらまし



館 長 天野 繁隆

皆様のご支援をいただき、25 年度に取り組んだ事業につきましてご報告いたします。

まず、当館が国からの委託を受け、平成 22 年からシステム管理を担っております視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」は、個人利用者が 1 万 2 千人を超えるまでになりました。また利用者の増加に比例するように、収蔵点字データ 13 万タイトル、デイジー図書データ 5 万タイトルとコンテンツは日々充実し、視覚障害者の読書を支えるものに成長いたしました。利用者が増えてもシステムの不都合等で利用に支障が出ないよう、事業受託施設としてシステムの保守・管理に日々努めました。

次に、従来の方針にとらわれない製作体制とサービスの試行的実施という方針に沿った取り組みとして、「アクセシブルな電子書籍製作実験プロジェクト事業」を、日本 IBM 社と東京大学の協力を得て実施しました。この事業は、テキストデイジー図書を迅速に製作・提供しようというものです。テキストデイジー図書は、文字の拡大や合成音声での読み上げができるほか、一般の書籍のように目次見出しやページごとの移動ができるもので、多様な読書障害者の利活用を可能にする電子書籍であることから、当館のこれからのサービスの一つの柱になり得るものと考えています。

また、学習障害を持つ、中・高生徒のために「マルチメディアデイジー教科書」の製作・提供についても、昨年度に引き続き行いました。当法人は、こうした児童、生徒の教科書や学習教材を製作し提供して行くことに、今後も力を注いで参ります。

このほか、昨年度はこれまでなかったサービスを開始し好評を博しました。「シネマ・デイジー」と名付けたサービスです。これは、市販 DVD 映画作品の主音声と、別途製作した視覚障害者のための音声解説をミックスしたものをデイジー図書形式で収録したものです。利用はデイジー図書再生機やパソコンソフトを使って行います。8 月のサービス開始から 8 か月余りの期間で、延べ 7,372 タイトルが利用され、当館の Twitter でもその感想や面白さをつぶやく内容を見受けられるのは嬉しいことです。

以上が 25 年度に実施し、利用者の方々に提供することが出来たサービス事業の主だったものですが、次頁以降で各事業別に詳しくご報告をいたします。

平成 25 年度 事業の実績

図書情報サービス

利用登録者数：13,126 人

新規収蔵図書数：

- ・点字図書 771 タイトル
- ・録音図書 924 タイトル

蔵書総数：

- ・点字図書 21,396 タイトル (79,451 冊)
- ・録音図書 14,870 タイトル

貸出数：

- ・点字図書 9,439 タイトル (36,687 冊)
- ・録音図書 140,328 タイトル

ダウンロード提供数

- ・点字図書 928 タイトル
- ・録音図書 54,697 タイトル



専門対面リーディングサービス利用実績：延べ 637 人、1,271 時間

中途視覚障害者対象の点字教室開催実績：延べ 1,328 人、259 回

視覚障害者対象のパソコン教室開催実績：延べ 87 人、320 回

レファレンス：視覚障害者図書情報提供 89,915 件

視覚障害関係墨字資料（奥村文庫）：新規収蔵 1,693 点、利用 1,122 件

点字図書の製作

新規受け入れ図書数：202 タイトル、1,003 冊（点訳ボランティア 105 人）

完成発表図書数：179 タイトル、860 冊（サピエにも登録）

点字出版図書頒布数：767 タイトル、2,141 冊

委託点字出版：（公財）日本テレビ小鳩文化事業団点字カレンダー 37,444 部など

録音図書の製作

新規製作図書数：177 タイトル、1,496 時間（朗読ボランティア 58 人）

図書編集実績：975 時間（編集ボランティア 29 人）

びぶりお工房（インターネットを活用した図書製作）

新規製作図書数：225 タイトル、1,978 時間（朗読・編集ボランティア 80 人）

テキストデージー図書製作：136 タイトル（ボランティア 167 人）

うち日本アイ・ビー・エム社、東京大学、メディアドライブ社との協力による
アクセシブルな電子書籍製作実験プロジェクト 108 タイトル

月刊録音雑誌「にってんデージーマガジン」を 80,940 枚配布（サピエにも登録）

委託録音製作：（公財）早川清文学振興財団「ハヤカワライブラリー」12 タイトルなど

視覚障害者用具の販売あつ旋

年間取扱点数：983 種、129,977 点

新規取扱商品：ルンバ視覚障害者モデル、書見台、立体囲碁アイゴ

展示会出展数：6 カ所、各種機器体験会開催実績：66 回

厚生労働省委託・補助事業

〔視覚障害者用図書事業〕

点字図書：40 タイトル（6,823 冊）製作、延べ 590 タイトル（2,500 冊）貸出

声の図書：デージー図書を 20 タイトル製作、延べ 1,689 タイトル、1,691 枚 貸出

〔盲人用具の販売あつ旋〕

盲人用具 17 種、28,388 点

〔サピエ図書館の運営（視覚障害者用図書情報ネットワーク運営事業）〕

会員数：個人会員 12,476 人、施設会員 271 施設

提供数：

- ・点字データ 137,644 タイトル
- ・音声デージーデータ 50,591 タイトル
- ・テキストデージーデータ 534 タイトル
- ・マルチメディアデージーデータ 41 タイトル
- ・目録 803,052 タイトル

利用数：

- ・点字データ 延べ 710,756 タイトル
- ・音声デージーデータ 延べ 2,524,200 タイトル
- ・テキストデージーデータ 延べ 29,158 タイトル
- ・マルチメディアデージーデータ 延べ 2,004 タイトル
- ・目録検索 2,288,469 件
- ・オンラインリクエスト 337,748 件

その他、全国の点字・公共図書館等に 89,815 件の情報を提供しました。



東京都委託事業

[点字図書の製作・貸出]

・点字図書：34 タイトル（312 冊）製作 延べ 212 タイトル（1,135 冊）貸出

[声の図書の製作・貸出]

・声の図書：81 タイトル（405 枚）製作 延べ 4,203 タイトル（4,228 枚）貸出

[視覚障害者用図書レファレンスサービス]

・都内の視覚障害者、施設・団体に対し 33,537 件の情報提供

[希望図書の製作]

・個人の希望する点字図書：74 人・127 件、声の図書：146 人・209 件

海外支援事業

■池田輝子基金によりマレーシアにおいて第 10 回池田輝子 ICT 奨学金事業を実施しました。18 名参加（中級 8 名、上級 10 名）

■霞会館の助成によりセネセ障害者インクルーシブ教育センターの協力でサモアにおいて第 20 回コンピュータ点字製作技術指導講習会を実施しました。11 名参加

チャリティ公演・イベント

[チャリティコンサート]

第 11 回本間一夫記念日本点字図書館チャリティコンサート

「岡村喬生——シネマコンサート」11 月 30 日(土) イタリア文化会館

[チャリティ映画会]

・秋の映画会：『のぼうの城』9 月 19 日(木) なかの ZERO 大ホール 395 名

・春の映画会：『舟を編む』2 月 26 日(水) なかの ZERO 大ホール 488 名

[各種イベント]

●本間一夫先生墓前の集い 7 月 28 日(日) 参加者 50 名

●視覚障害者のための防災イベント 8 月 31 日(土)

●点字図書館オープンオフィス 11 月 9 日(土)・10 日(日) 来場者 1,200 名

第 10 回本間一夫文化賞贈呈式と講演（受賞者 山内繁氏）

勇退奉仕者感謝状贈呈

講演「目の見えない人々への社会的な貢献として何ができるか」日野原重明氏

「アークどこでも本読み隊 3 年間の歩み」堀内佳美氏

「視覚障害者と点字」松谷詩子

●にってんクリスマスコンサート 12 月 21 日(土) 参加者 60 名

「点字図書館オープンオフィス」でご講演いただいた日野原先生には、この時の様子を朝日新聞のエッセイに書いていただきましたので、許諾をいただいて掲載いたします。

<102歳私の証 あるがまゝ行く> より 視覚障害者のための点字図書館

日野原 重明

私は昨年11月、社会福祉法人「日本点字図書館」の主催する集会で講演する機会がありました。日本点字図書館は1940（昭和15）年、視覚障害者の本間一夫氏が、東京都豊島区雑司が谷に、点字の本を集めた小さな図書館を発足させたのがはじまり



です。のちに新宿区高田馬場に引っ越しました。美智子皇后陛下も、この施設に何度も足を運ばれているそうです。訪ねてみると、車1台がやっと通れるような奥まった場所でした。私はこの施設はもっと開けた場所で、大きな建物を構えるべきだし、もっと世の中にその名が知られるべき施設なのは、と感じました。

田中徹二理事長から、詳しい施設の説明を受けました。全国の視覚障害者は約30万人とも言われます。目の見える人間は日常、何の障壁も感じることなく、テレビ、新聞、映画、インターネットなどから情報を得ていますが、視覚障害者は音声や点字を通してしか、その情報を受容することができません。それだけに、文字を点字や音声に置き換えた「点字図書」や「録音図書」を読むことは、貴重な情報源や娯楽となっているのです。

点字図書館では、ボランティアを養成し、彼らが活字の図書を点訳または音声化することで、図書を作成しています。出来上がった点字図書、録音図書は、全国の視覚障害者に送料無料で貸し出されます。近年は、インターネットを通じて読めるようにもなっているそうです。発足当初、わずか700冊だった蔵書も、現在は約2万数千点に増え、全国に年間約15万点を貸し出しているそうです。

集会には200人ほどの視覚障害者やボランティアの方々に参加していました。私は、ボランティア養成について、自分自身の経験や考えを話しました。ボランティアとは、その英単語の意味するように、あるがままの誠意で、自分のためでもなく、命令されてでもなく、進んで活動することです。点字図書、録音図書の作成というボランティアも、地道で容易ではない作業ですが、多くの視覚障害者に感謝される、大変重要で尊い作業なのです。この活動がもっと広く社会に認知され、この図書館がさらに充実した施設になることを、私は願わずにはられませんでした。

（聖路加国際メディカルセンター理事長）

朝日新聞 2014年1月18日付

***** 視覚障害者にも名作映画の愉しみを*****

新サービス「シネマ・デイジー」が大好評でした

平成 25 年 8 月 1 日より日本ライトハウス情報文化センターとの共同事業として「シネマ・デイジー」の貸出を開始しました。

「シネマ・デイジー」とは、一枚の CD に映画本編の主音声と、登場人物の動きや場面、背景等の視覚情報を言葉で説明した音声解説をとともに録音したものです。映像を見ることはできませんが、映画の主音声と音声解説を同時に聞く事ができるので、利用者の方にとっては、手軽に映画を楽しむことができます。このサービスは大変好評で、当館での貸出数はサービス開始の 8 月から 3 月末までの 8 か月間で延べ 7,372 件、サピエ図書館では、延べ 45,675 件もの利用があり、皆様から喜びの声をたくさんいただいています。



ソフトバンクモバイル社の「かざして募金」のご利用ができます

「かざして募金」とは、ソフトバンクモバイル社の社会貢献事業としてスマートフォンを使って非営利団体に募金ができる仕組みです。App Store または Google Play™ から「かざして募金」アプリをインストールし、本冊子の表紙にかざして画面をタッチすると専用サイトからご寄付いただけます。

注意事項：この募金はソフトバンクモバイル社により提供されるサービスです。募金者様への当館からの領収書発行はできませんので、ご注意ください。
アプリの使用料は無料ですが、ダウンロード及び寄付サイトへのアクセスには別途通信料が発生します。



かざして募金

アプリのダウンロードはこちらから

iOS アプリ アンドロイドアプリ



ご寄付への御礼とご報告

平成 25 年度は、皆様から以下のようなご厚志をたまわりました。

総件数 10,140 件 (前年度 10,076 件)
総額 144,211,229 円 (前年度 120,927,625 円)

その内訳をご報告いたします。

3,000 円未満	863 件	10 万円以上 50 万円未満	109 件
3,000 円以上 5,000 円未満	3,664 件	50 万円以上 100 万円未満	7 件
5,000 円以上 1 万円未満	2,701 件	100 万円以上	14 件
1 万円以上 10 万円未満	2,782 件	合計	10,140 件

多くの方々から貴重なご寄付をたまわりまして、誠にありがとうございます。深く感謝を申し上げます。

チャリティコンサート等の収益からのご寄付や、ご家族の誕生日・命日を記念とすご寄付など、多くの皆様から大切な思いが込められたご厚志をたまわりました。当館のサービス利用者の方からは、「いつもお世話になっています」とのお言葉添えをいただきました。

サービスの質を維持向上できておりますのも、皆様のお力添えの賜物でございます。ご厚志をお寄せくださいました皆様、本当にありがとうございます。

また、3 件はご遺贈として、6 件はお香典返しとして、ご寄付を頂戴いたしました。謹んで故人のご冥福をお祈りいたしますとともに、ご遺族ならびに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

募金箱設置ご協力をお願い

「見える幸せ、読めるよるこび」のごく一部を視覚障害者のために分けてください。自由に本を読むことのできる幸せの一部をお分けいただきたいのです。

お店や職場・会社・ご家庭に常時募金箱を置いてくださる方を募集しています。1 円でも 10 円でも、ちょっとした小銭を本の製作に役立てたい。その温かなお心が集まると、大きな力になります。ぜひご支援をお寄せくださいますよう心よりお願い申し上げます。



❧ ご寄付いただいた主な企業・団体のお名前 ❧

* 紙面の都合上、ご寄付いただきました企業・団体全てを掲載できませんでしたこと
 をお詫び申し上げます。

(五十音順)

団 体 名	
朝日信用金庫	電気事業連合会
朝日生命保険相互株式会社	東京 I ゾンタクラブ
イオンクレジットサービス株式会社	東京第一友の会
医療法人社団三敬会 忍足眼科医院	東京灯芸家協会
株式会社 偕成社	有限会社 トレジャークエスト
日本キリスト教会 柏木教会	永田眼科
医療法人 春日上原眼科医院	新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部 図書館
日本基督教団 鎌倉雪ノ下教会	ニシフミート株式会社
河和田屋印刷株式会社	株式会社 日本財託
医療法人湘山会 眼科三宅病院	ネットオフ株式会社
観音寺	ハイアットリージェンシー東京
国稀酒造株式会社	林歯科
晃華学園麦の会	PFU 労働組合
合同会社 大和印刷	株式会社 日立ビルシステム
ゴスペル東京チャリティコンサート実行委員会	有限会社 For You
小橋国際特許事務所	普連土学園 宗教委員会
株式会社 さくらケーシーエス	一般財団法人 報国積善会
シオノギ製薬	保善高等学校
地福寺	ホテルオークラ東京
株式会社 出版文化社	ホテルサンルート高田馬場
一般社団法人 信託協会	聞明寺
真福寺	柳川特許事務所
一般社団法人 全国銀行協会	横浜友の会
一般社団法人 全国地方銀行協会	横浜ロイヤルパークホテル
全国友の会中央部	株式会社 リクルートマーケティングパートナーズ
浅草寺教化部	有限会社 菱和興産
宝印刷株式会社	ロイヤルパークホテル ザ 汐留
社会福祉法人 中日新聞社会事業団東京支部	ロイヤルパークホテル

チケット購入にご協力いただいた主な企業・団体のお名前

当館が主催したチャリティ映画会・チャリティコンサートのチケット購入にご協力いただいた主な企業・団体のお名前です。

(五十音順)

株式会社 アシスト	株式会社 タニタ
株式会社 岩波書店	株式会社 辻封筒印刷所
社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団	公益財団法人 鉄道弘済会
NTT 東京福祉文化事業団「ゆいの会」	株式会社 天賞堂
大橋洋紙店	天理教東京教区まこと会
オタリテック株式会社	東亜ディーケーケー株式会社
オリンピック眼科病院	社会福祉法人 東京光の家
株式会社 偕成社	東邦印刷株式会社
学書院	東洋はり医学会
ケージーエス株式会社	社会福祉法人 トット基金
株式会社 サン・データセンター	株式会社 日清製粉グループ本社
公益財団法人 社会福祉振興・試験センター	日生総合サービス株式会社
株式会社 小学館	株式会社 日本財託
株式会社 新上	公益財団法人 日本テレビ小鳩文化事業団
株式会社 西武洋紙店	株式会社 ハーベスト
ゼネラルタック株式会社	社会福祉法人 ぶどうの木ロゴス点字図書館
大同通商株式会社	法明寺
株式会社 太平エンタープライズ	公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団
株式会社 タカラトミー	株式会社 LIHIT LAB.

愛のポストカード・愛の CD 運動へのご支援

書き損じはがき、出し忘れはがき、未使用のはがきをご寄贈いただき、切手に換えて日常業務に不可欠な通信費の一部に充当しています。また、ご不要となった音楽 CD や DVD をご寄贈いただき、中古店に買い取っていただいて運営資金に繰入れています。

平成 25 年度は、はがきの引き換え金額として 94,505 円、CD の買い取り金額として 109,243 円のご支援をいただきました。

この二つの運動は今後も継続してまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



❧ ワンブック・プレゼント運動へのご支援 ❧

多くの企業・団体と個人の皆さまからワンブック・プレゼント運動にご支援いただきました。この運動は、一口10万円単位のご寄付を点字図書・CD図書の製作費用に充てさせていただくものです。完成した図書にはご寄付くださった企業・団体・個人の方のお名前やメッセージなどを図書に表示して、利用する読者の方に皆様のご支援の一端をお伝えいたします。

(敬称略)

点 字 図 書		C D 図 書			
お 名 前	口数	お 名 前	口数		
イオンクレジットサービス株式会社	26	匿名	30		
特定非営利活動法人エキスパートチャリティ アソシエーション	20	イオンクレジットサービス株式会社	27		
古川京一	11	スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社	12		
朝日生命保険相互会社	3	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	5		
リサイクルブックストア協議会	3	ハウス食品労働組合	5		
大竹玉枝	2	朝日生命保険相互会社	3		
株式会社 東横イン	1	はんだこどもクリニック	3		
株式会社 日立ビルシステム	1	石橋道夫	2		
ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社	1	岩瀬愛子	2		
匿名	1	下野恵子	2		
匿名	1	匿名	2		
		株式会社アートサービス企画	1		
		株式会社 ニデック有志	1		
		株式会社 日立ビルシステム	1		
		共同印刷株式会社	1		
		匿名	1		
		匿名	1		
		匿名	1		
点字図書 合計	11 件	70 口	CD 図書 合計	18 件	100 口
点字図書・CD 図書 総計 170 口					

❧ 企業や団体からのご助成 ❧

企業・団体名	金額(円)	助成内容
公益財団法人 石橋財団	4,360,000	合成音声を用いたデジ版理数教科書・教材製作システムの開発
株式会社 岩波書店	720,000	岩波新書等の録音版の製作・貸出
一般財団法人 NHK サービスセンター	2,000,000	点字版「NHK ウイークリーガイド」の製作・頒布
一般社団法人 霞会館	1,000,000	第20回アジア盲人図書館協力事業の実施（於サモア）
公益信託 久保記念点字図書援助基金	400,000	録音図書製作に係る機器購入
埼玉県民共済生活協同組合	2,500,000	点字図書と録音図書の製作・貸出
公益財団法人 JKA	2,499,000	月刊録音雑誌「医学研究」及び「ホームライフ」の製作・貸出・配布（障害を持つ人が幸せに暮らせる社会を作る活動）
全国ラジオチャリティミュージックソン実行委員会	1,000,000	録音図書のデジ編集作業、インターネットでの配信・CD 貸出
全国労働者共済生活協同組合連合会	1,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出
公益財団法人 鉄道弘済会	1,800,000	録音雑誌「ブックウェブ」の製作・貸出
東京都民共済生活協同組合	3,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出
株式会社 トーハン	499,945	点字図書と録音図書を製作するための原本・資料提供
一般財団法人 日本児童教育振興財団	900,000	中学・高校マルチメディアデジ数学教科書の製作
一般財団法人 日本宝くじ協会	2,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出
一般財団法人 日本メイスン財団	3,300,000	点字図書と録音図書の製作・貸出 DVD 映画対応音声解説 CD の製作・貸出
公益財団法人 パブリックリソース財団	88,825	点字・録音図書製作のための原本購入費
前田建設工業株式会社	1,000,000	点字図書の製作・貸出・配布
公益財団法人 三菱財団	2,600,000	マルチメディアデジ教科書の製作ソフトのクラウド化とネットワークを用いた理数系教科書共同制作の研究
公益財団法人 一ツ橋総合財団	5,000,000	録音図書「一ツ橋文庫」の製作・貸出 録音図書のデジタル化
株式会社 文藝春秋	960,000	録音雑誌「文藝春秋」の製作・貸出
社会福祉法人 読売光と愛の事業団	1,360,000	専門対面リーディングサービス事業の実施 ロービジョン機器等相談事業の実施 視覚障害者就労支援機器（点字ペンディスプレイ）の購入

平成 25 年度 決算のあらまし

単位 (円)

事業活動による収支(収入)	
点字図書館事業収入	461,994,324
盲人用具販売事業収入	404,094,056
マンション経営事業収入	36,396,524
本部事業収入	3,816,800
経常経費寄附金収入	162,775,662
受取利息配当金収入	4,445,301
その他の収入	3,399,151
①事業活動収入計	1,076,921,818
事業活動による収支(支出)	
人件費支出(法人負担分)	298,726,472
委託・補助金事業人件費支出	172,128,244
事業費支出	459,712,891
事務費支出	75,656,747
支払利息支出	313,189
その他の支出	2,886,446
②事業活動支出計	1,009,423,989
③事業活動資金収支差額(①－②)	67,497,829
施設整備等による収支(収入)	
設備資金借入金収入	4,884,000
④施設整備等収入計	4,884,000
施設整備等による収支(支出)	
設備資金借入金元金償還支出	7,800,000
固定資産取得支出	17,552,002
⑤施設整備等支出計	25,352,002
⑥施設整備等資金収支差額(④－⑤)	△ 20,468,002
その他の活動による収支(収入)	
投資有価証券売却収入	5,706,753
積立資産取崩収入	207,294,685
⑦その他の活動収入計	213,001,438
その他の活動による収支(支出)	
積立資産支出	224,405,374
その他の活動による支出	1,527,629
⑧その他の活動支出計	225,933,003
⑨その他の活動資金収支差額(⑦－⑧)	△ 12,931,565
⑩当期資金収支差額合計(③＋⑥＋⑨)	34,098,262
⑪前期末支払資金残高	
前期末支払資金残高	47,492,913
当期末支払資金残高(⑩＋⑪)	81,591,175

※平成 25 年度より新会計基準へ移行したため、科目名を変更しています。

日本点字図書館のあゆみ

1940（昭和 15）年	全盲の青年 本間一夫が日本盲人図書館（現在の社会福祉法人日本点字図書館）を創立 蔵書 700 冊
1945（昭和 20）年	戦災により本館焼失 貸出は疎開先で継続
1948（昭和 23）年	焼け跡に仮建築で再出発 日本点字図書館に改称
1952（昭和 27）年	社会福祉法人となる
1953（昭和 28）年	本間一夫が朝日社会奉仕賞受賞
1954（昭和 29）年	厚生省から点字図書製作事業の委託を受ける
1958（昭和 33）年	声のライブラリー発足 テープ 50 巻、レコーダ 1 台
1960（昭和 35）年	「中途失明者のための点字教室」を開始
1966（昭和 41）年	視覚障害者用生活用具の開発と普及事業を開始
1976（昭和 51）年	声の図書の「カセットテープ化」を開始
1989（平成 元）年	厚生大臣特別表彰（身体障害者福祉功労団体）を受賞
1991（平成 3）年	パソコン点訳者養成事業開始
1994（平成 6）年	アジア盲人図書館協力事業開始
1996（平成 8）年	専門対面リーディングサービス開始
1998（平成 10）年	国費による新別館完成 皇后陛下ご臨席のもと新館披露の式典開催
1999（平成 11）年	デジタル録音図書（CD 図書）の製作・貸出開始
2003（平成 15）年	本間一夫と日本点字図書館が、第 10 回井上靖文化賞を受賞 ロービジョンサポート事業開始 創立者本間一夫他界（享年 87 歳）
2004（平成 16）年	録音図書ネットワーク配信サービス「びぶりおネット」開始
2005（平成 17）年	ユニバーサルデザイン推進室（UD ラボ）設置
2007（平成 19）年	アジア太平洋障害者の 10 年の中間年記念 内閣総理大臣表彰受賞
2008（平成 20）年	チャリティコンサートに皇后陛下のご臨席を賜る
2009（平成 21）年	CD 雑誌「にってんデイジーマガジン」創刊
2010（平成 22）年	視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」開始 「日点みんなの集い」に皇后陛下のご臨席を賜る
2011（平成 23）年	カセットテープによる録音図書サービスを終了 中国盲文図書館との間で友好姉妹館を締結
2013（平成 25）年	「シネマ・デイジー」サービス開始
2014（平成 26）年	川崎市視覚障害者情報文化センターの管理運営開始

役 員

理事長	田中 徹二	
常務理事	天野 繁隆	館長
同	伊藤 宣真	本部長
理事	大塚 信一	元 (株)岩波書店代表取締役社長
同	岡村 喬生	声楽家・音楽監督
同	河 幹夫	神奈川県立保健福祉大学教授
同	田中 敏雄	(株)福祉施設共済会代表取締役
同	花島 弘	(公財)共用品推進機構理事
同	日高 由央	元 武蔵野大学教授
同	三田 誠広	作家・(公社)日本文藝家協会副理事長
監事	野田 聖子	弁護士
同	脇本 千治	(一社)日本義肢協会常務理事

評 議 員

青木 裕子	樽松 武男	富田 清邦	星川 安之	山岡 三治
阿佐 博	高橋 秀治	長岡 英司	本間 一明	山崎 喜芳
石橋 迪子	竹村 実	長谷川貞夫	増渕 路子	渡邊 岳
加藤真由美	立花 明彦	福島 智	水野 雅夫	和波 孝禧
河野 康德				

後援会長 阿刀田 高 (作家・日本文藝家協会常務理事)



社会福祉法人 **日本点字図書館**

〒169-8586 東京都新宿区高田馬場1-23-4

電話 (03) 3209-0241 (代表) FAX (03) 3204-5641

ホームページ <http://www.nittento.or.jp/> Eメール nitten@nittento.or.jp

ゆうちょ銀行振替口座 一般:00160-2-100288

取引銀行及び普通預金口座番号

みずほ銀行 高田馬場支店 普通 2855735

三井住友銀行 高田馬場支店 普通 92380

三菱東京UFJ銀行 高田馬場駅前支店 普通 167456

口座名:社会福祉法人 日本点字図書館 フリガナ:フク)ニッポンテンジトショカン

インターネットからもご寄付いただけます

日点

で検索

(敬称は省略させていただきます)